

TOTO

リモコン便器洗浄ユニット

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意

(安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	---	--	--

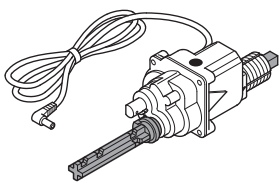
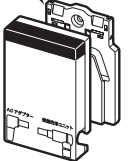
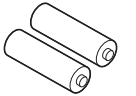
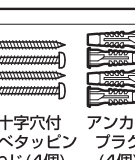
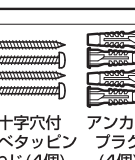
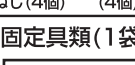
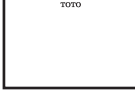
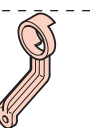
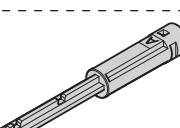
 警告	
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わない 火災の原因になります。
	電気器具なので、絶対に水をかけない 故障・事故の原因になります。
	ACアダプターをぬれた手で触らない 感電の原因になります。

 警告	
	修理技術者以外の人とは絶対に分解したり修理、改造は行わない 故障・感電の原因になります。
	水がかかったり、表面に結露が生じるような湿気の多い場所、 特に浴室やシャワールームで使用しない 故障・感電の原因になります。
	ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分 差し込む 火災の原因になります。

 注意	
	器具に強い力や衝撃を与えない 故障・事故の原因になります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を 使用する 故障や事故の原因になります。
	取り付けの際は止水栓を閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

HE10・HE20共通部品	
 便器洗浄ユニット (1個)	 リモコン (1セット)
 受信ユニット (1セット)	 ACアダプター (1個)
 ハンドル (1個)	 ストッパーA(黒) (1個)
 サンドペーパー (1枚)	 ワッシャーB (1個)
 シール(1枚)	 ナット(1個)
 ワッシャーA (1個)	 皿ねじ (ストッパー用) φ3×10(1個)
 単3乾電池(2個)	 ピン(1個)
 十字穴付 なべタッピン ねじ(4個)	 アンカー プラグ (4個)
 固定具類(1袋)	 コードフック(7個)
[補修品番：HH07057]	
 施工説明書 (1部)	
 取扱説明書 (1部)	
HE10専用部品	
 レバー(灰) (1個)	 スリットカバー(黒) (1個)
[補修品番：HH07058]	
HE20専用部品	
 レバー(灰) (1個)	 レバー(ピンク) (1個)
 ピン(1個)	 スペーサー(灰) (1個)
[補修品番：HH07059]	

※ [] の部品は補修部品として、購入できます。

仕様

電源	駆動部	AC100V 50/60Hz	電源コード長さ	1.5m
	リモコン部	単3乾電池 1個	主要材質	ABS樹脂
消費電力		常時1W 駆動時30W	周囲使用温度範囲	0~40℃

取り付け前に

- 電気製品ですので受信ユニットや、ACアダプター、リモコンに水をかけないようにご注意ください。また浴室内では使用しないでください。
- 電源はAC100V(50/60Hz)です。当商品と他の電気機器を併設する際の電源用コンセント布設に関しては、必ず電気工事店様にご依頼ください。
- リモコンの送信部や受信ユニットの受信部を傷つけないよう十分ご注意ください。
- 当商品はすべて右ハンドル専用品です。

※注) <HE10-②>のみ

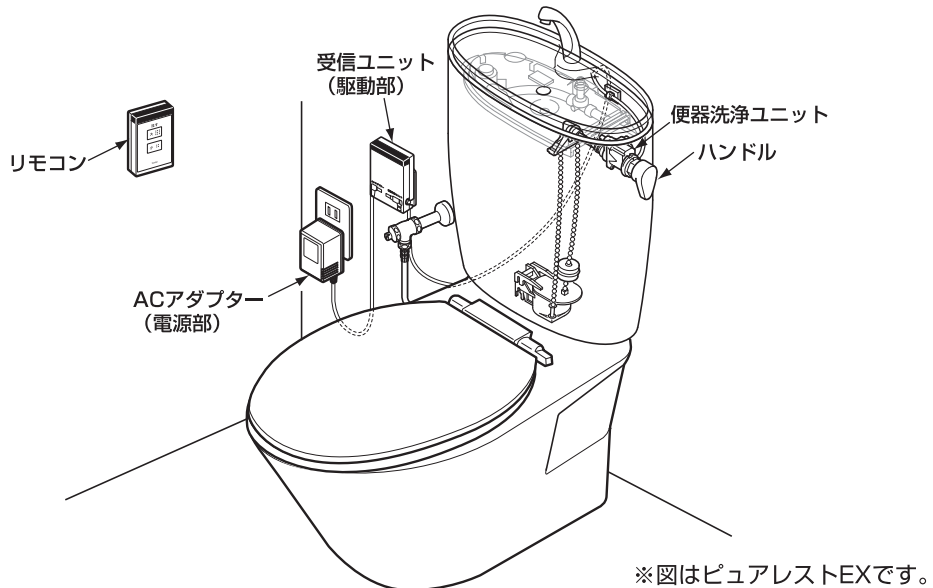
金属玉鎖の場合は、オプション品HH08008Sをご注文ください。
上記品がないと、リモコン便器洗浄は取り付けません。

【商品別該当品番(タンク)一覧表】

下記表を参考にして、該当商品を選び、施工手順に従って取り付けてください。

<HE10-①>				
ピュアレスト/ピュアレストEX/ピュアレストQR (一般地・寒冷地)				
タ ン ク 品 番	SH110B系 SH111B系 SS110BF・BN系 SS111BF・BN系	SH112B系 SH113B系 SS112BF・BN系 SS113BF・BN系	SH50B系 SH51B系 SS50BF・BN系 SS51BF・BN系	SH60B系 SH61B系 SS60BF・BN系 SS61BF・BN系
SH260B系 SH261B系 SS260BF・BN系 SS261BF・BN系				
<HE10-②> ※注)				
QR(一般地)/レスティカ(一般地)/CSR(一般地)/マンションリモデル				
タ ン ク 品 番	SH30B系 SH31B系 SH32B系 SH33B系	SH90B系 SH91B系 SH92B系 SH93B系	SH670B系 SH671B系 SH680B系 SH681B系	SH560B系 SH561B系 SH564B系 SH565B系
<HE20-①>				
QR(寒冷地)/レスティカ(寒冷地)/CSR(寒冷地)/NEW CS				
タ ン ク 品 番	SS30BF・BN系 SS31BF・BN系 SS32BF・BN系 SS33BF・BN系	SS90BF・BN系 SS91BF・BN系 SS92BF・BN系 SS93BF・BN系	SS680BF・BN系 SS681BF・BN系	S790BF・B S791BF・B
<HE20-②>				
CSR(寒冷地)/CS430系/NEW CS				
タ ン ク 品 番	SS670BF・BN系 SS671BF・BN系	SS430B系 SS431B系	SS430BF・BN系 SS431BF・BN系	S770BF・B S771BF・B

各部のなまえ



取付位置の確認

受信ユニットの取付位置を確認する。

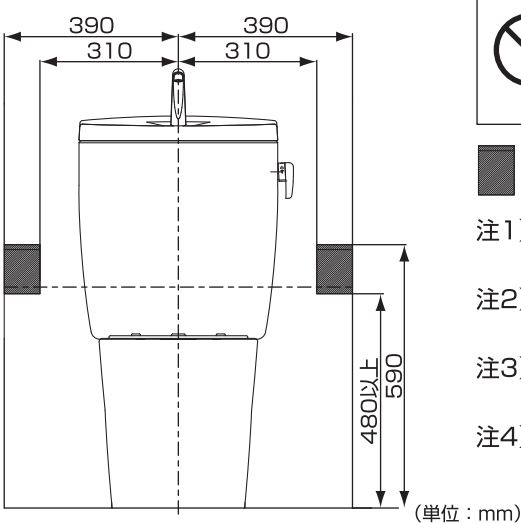
警告



止水栓の真下やまわりにリモコンや受信ユニットを置かない
結露などにより火災や感電、故障の原因になります。

……受信ユニット推奨位置

- 注1) 給水位置の下には、受信ユニットを置かないでください。
注2) リモコンと受信ユニットは、できるだけ同じ側に置いてください。
注3) 棚があると、受信性能が低下しますので、棚の下には設置しないでください。
注4) 受信ユニットは必ず480mm以上の高さに設置してください。

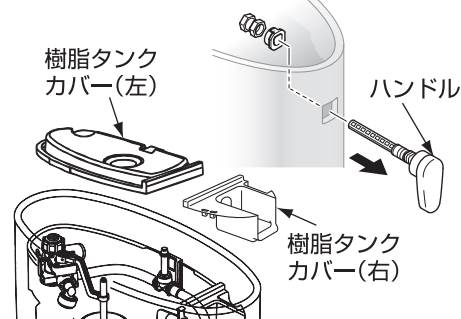


1

既設ハンドルの取り外し

HE10・HE20
共通

- 1 止水栓を閉めてロータンク内の水を抜く
- 2 ロータンクふたと樹脂タンクカバー(左)を取り外す
- 3 既設のハンドルを取り外す
- 4 樹脂タンクカバー(右)を取り外す



※取り外したハンドル部品は使わないでください。

※図はピュアレストのタンクです。

HE10-①は ②-③ へ、HE10-②は ②-① へ、HE20 は ③ へ
進んでください。

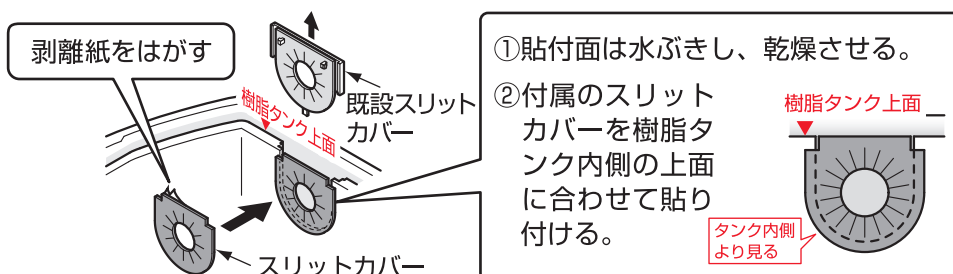
2

便器洗浄ユニットの取り付け

HE10

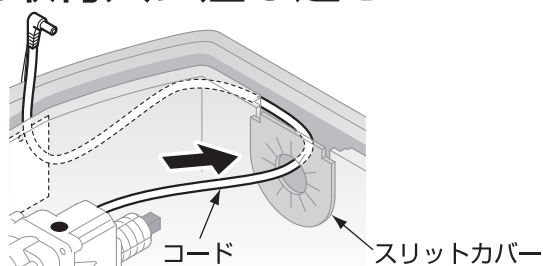
<HE10-②のみ>

- 1 既設のスリットカバーを外したあと同梱のスリットカバーを取り付ける



<HE10-②のみ>

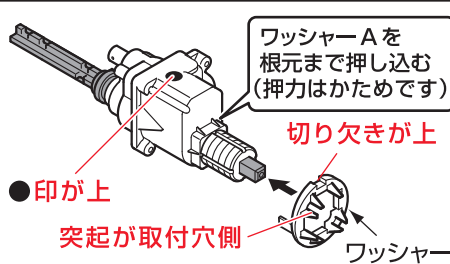
- 2 コードをスリットカバーに通し、便器洗浄ユニットを取付穴に差し込む



<HE10-①はここから>

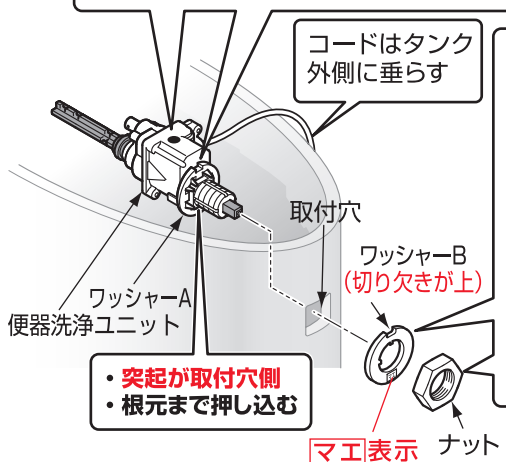
- 3 便器洗浄ユニットの●印を上にしてロータンクに取り付ける

- ①便器洗浄ユニットにワッシャーAをセットし、取付穴に差し込む。



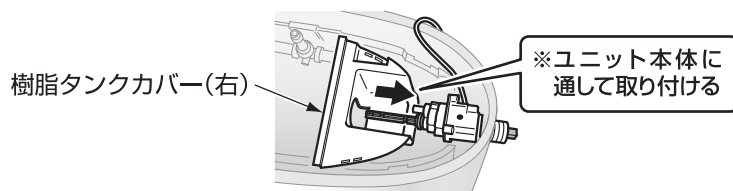
- ②便器洗浄ユニットにワッシャーBをセットする。

- ③ロータンクとのすき間がなくなるまでモンキーレンチでナットをしっかり締め付ける。



※図はピュアレストのタンクです。

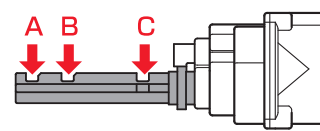
- 4 外した樹脂タンクカバー(右)を取り付ける



- 5 便器洗浄ユニットのピン固定位置までレバーを差し込みピンで固定する

レバーが抜けないことを確認する

<HE10-①>の場合 → A
<HE10-②>の場合 → BまたはC (下表参照)

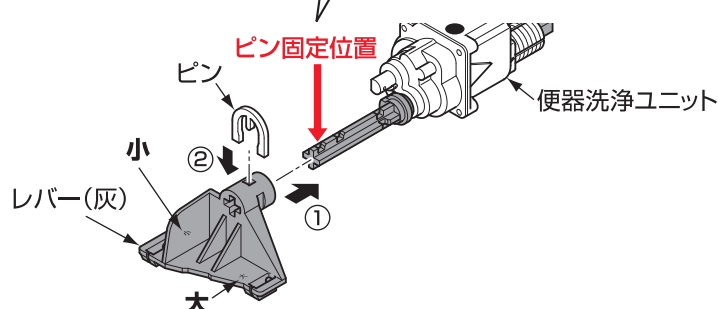


QR(一般地)	SH30B系、SH31B系 SH32B系、SH33B系
レスティカ(一般地)	SH90B系、SH91B系 SH92B系、SH93B系
CSR(一般地)	SH680B系 SH681B系

マンションリモデル	SH560B系、SH561B系 SH564B系、SH565B系
CSR(一般地)	SH670B系 SH671B系

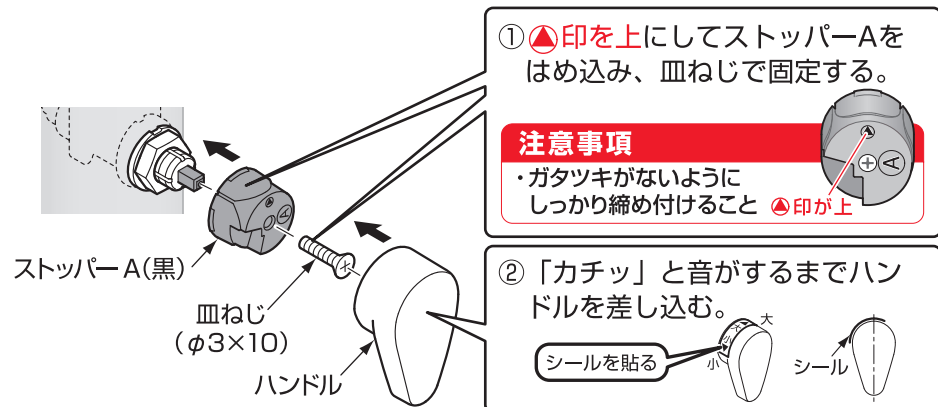
↓ C

↓ B

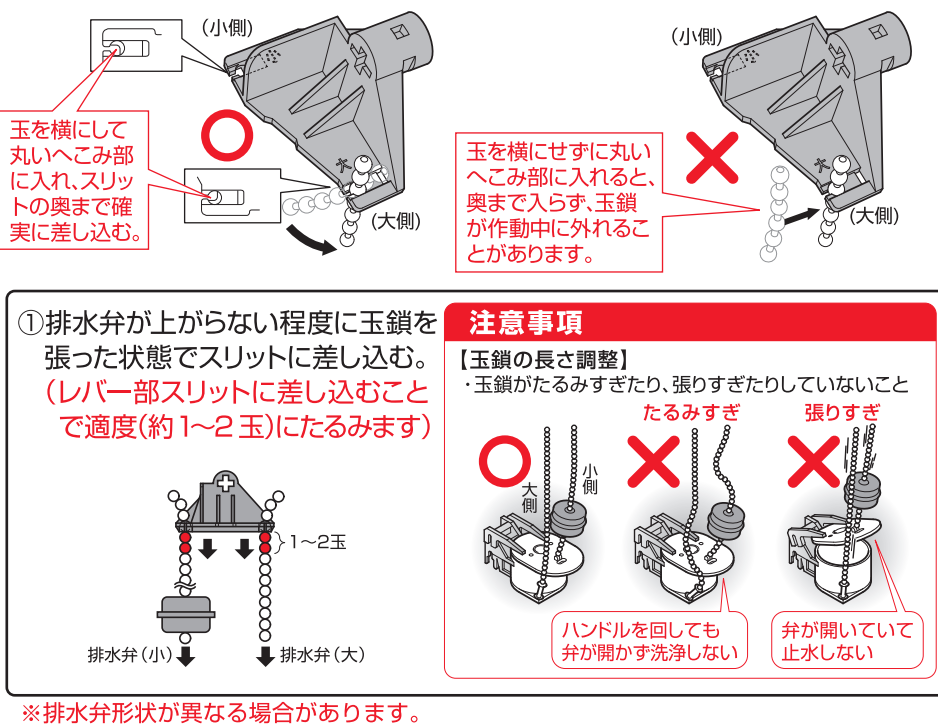


裏面につづく ➡

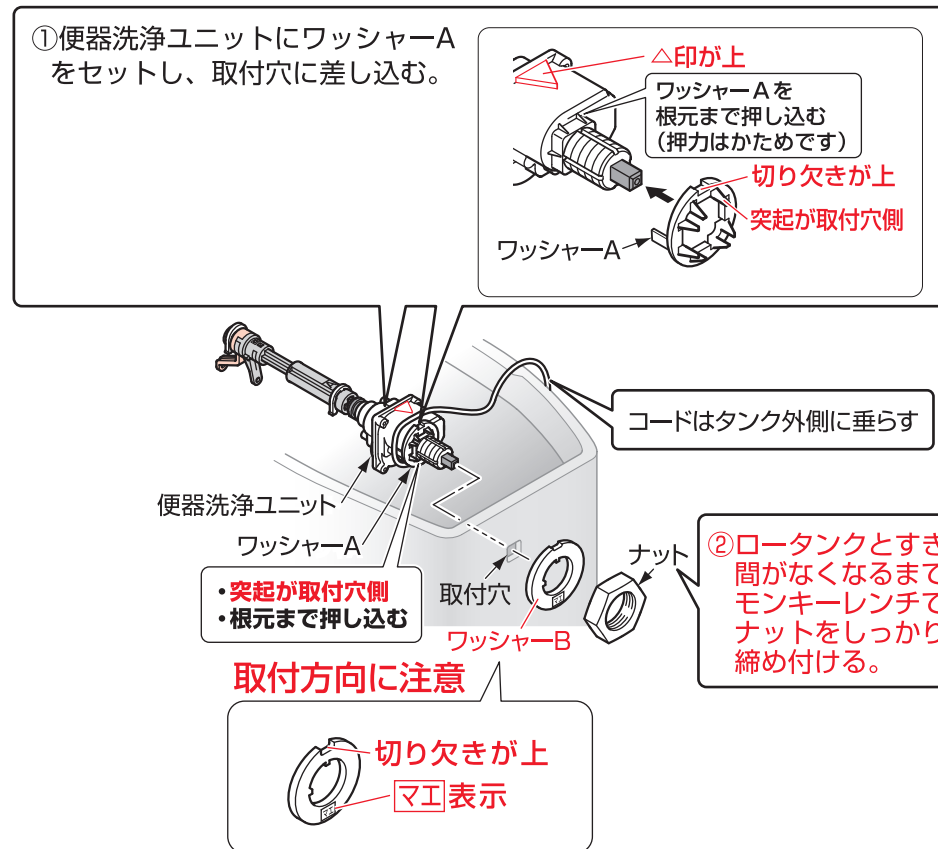
6 ハンドルを取り付ける



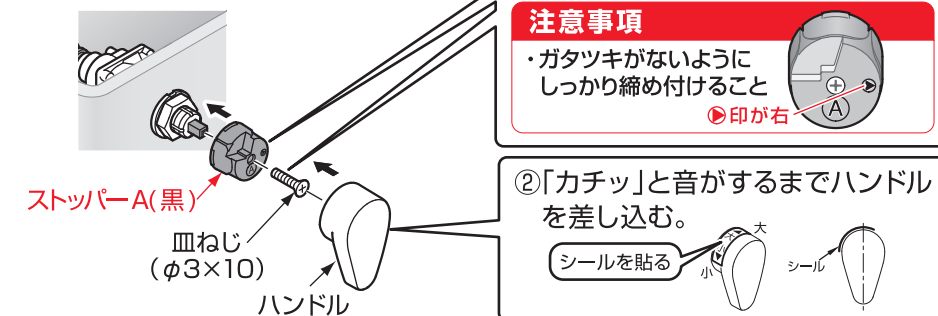
7 玉鎖の長さを調整する



2 便器洗浄ユニットの△印を上にして、ロータンクに取り付ける

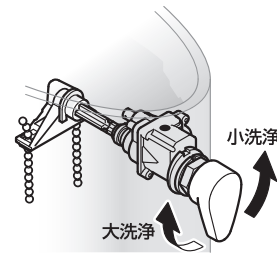


3 ハンドルを取り付ける



8 ハンドルと排水弁の作動を確認する

- ① ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- ② レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ③ ハンドルを「大」側に回したときは、上下両方の排水弁が開くこと。
- ④ ハンドルを「小」側に回したときは、上側の排水弁のみが開くこと。



このつづきは、**HE10・HE20 共通**

4 コードフックの取り付けとコードの配線

へ進んでください。

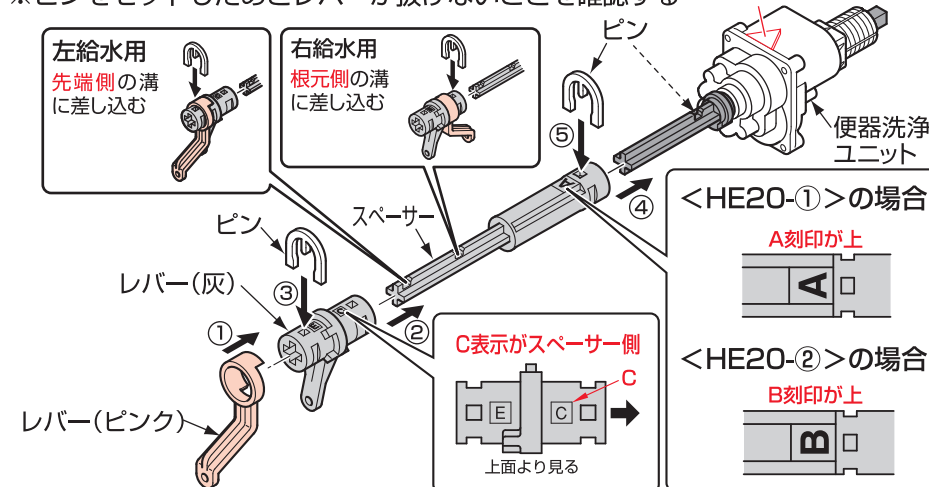
3

便器洗浄ユニット取り付け

HE20

1 便器洗浄ユニットの△印を上にして、レバー(ピンク)、レバー(灰)、スペーサー、ピンを取り付ける

※ピンをセットしたあとレバーが抜けないことを確認する **△印が上**

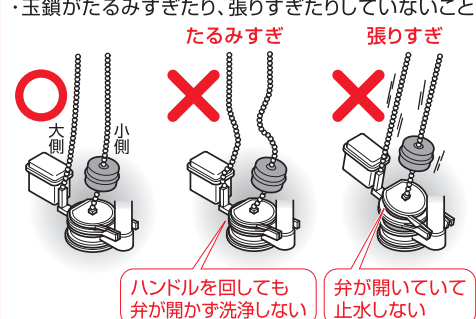


4 玉鎖の長さを調整する

- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態でスリットに差し込む。
(レバー部スリットに差し込むことで適度(約1~2玉)にたるみます)

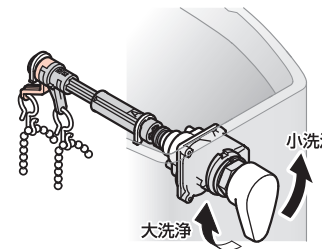
注意事項

【玉鎖の長さ調整】
・玉鎖がたるみすぎたり、張りすぎたりしていないこと



5 ハンドルと排水弁の作動を確認する

- ① ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- ② レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ③ ハンドルを「大」側に回したときは、上下両方の排水弁が開くこと。
- ④ ハンドルを「小」側に回したときは、上側の排水弁のみが開くこと。

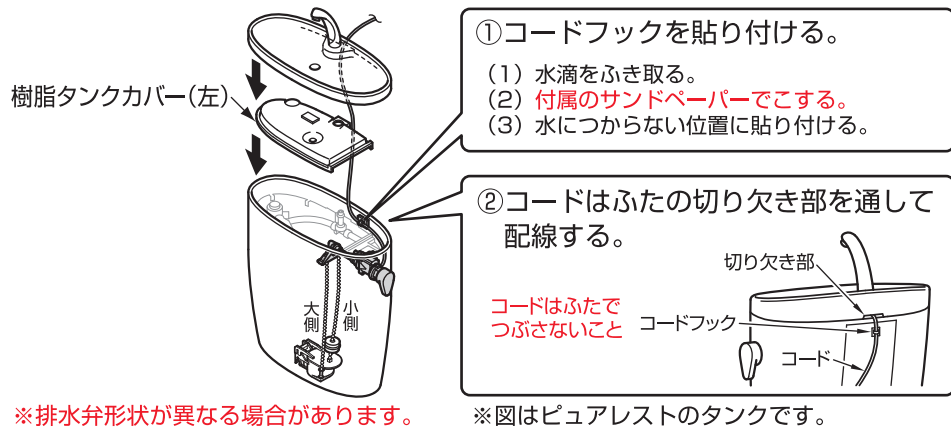


4

コードフックの取り付けとコードの配線

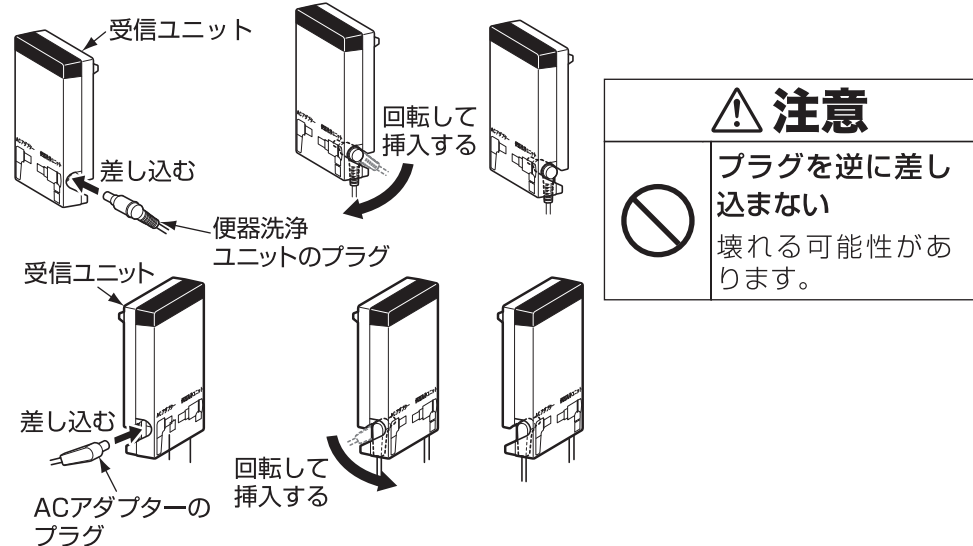
HE10・HE20
共通

① コードフックを取り付け、コードを配線する



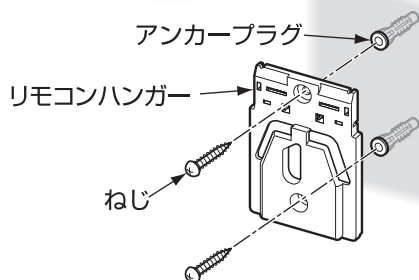
② 便器洗浄ユニットのプラグとACアダプターのプラグを受信ユニットに差し込む

- ①それぞれのプラグを受信ユニットに差し込む。(下図参照)
- ②下に回転させ、カバー内に収める。

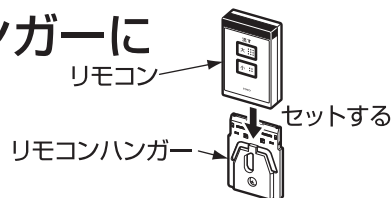


③ リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6 深さ 33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



④ リモコンをリモコンハンガーにセットする



6

受信ユニットの取り付け

HE10・HE20
共通

① 取付位置を決める

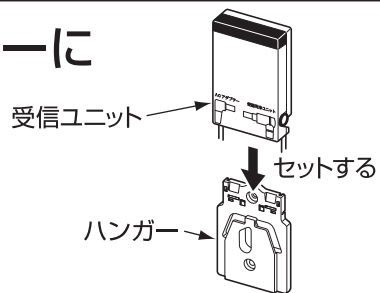
表面の **取付位置の確認** を参照して取付位置を決める。

② 受信ユニットを取り付ける

- ⑤ ③ を参照して、同じ手順で受信ユニットを取り付ける。

3

受信ユニットをハンガーにセットする



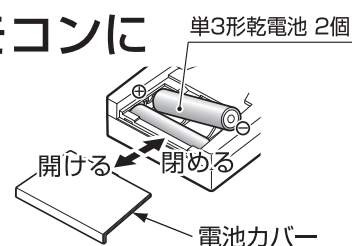
5

リモコンの取り付け

HE10・HE20
共通

① 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる

- ※ ⊕ ⊖ を間違えないでください。
※リモコンは電池を2個使用します。



② 次の確認を行ってリモコンの取付位置を決める

【操作性の確認】

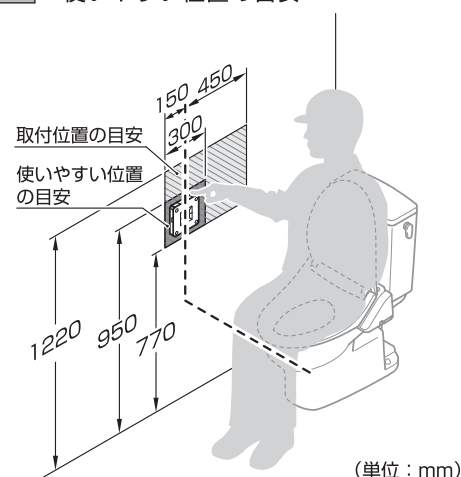
- 便座に座った状態で操作を行い、取付位置を決めてください。

※室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンの受信性能が変わることがあります。

【作動の確認】

- 万一、リモコンで作動しない場合は、右図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

…取付位置の目安
…使いやすい位置の目安



7

取り付け完了後の確認

HE10・HE20
共通

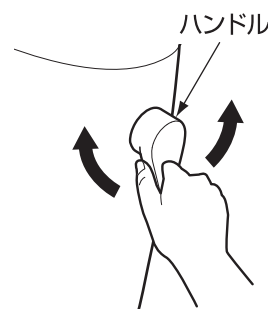
① ロータンクの止水栓を開ける

② 手動で便器洗浄を確認する

ハンドルを手で操作して、便器洗浄が大・小洗浄とも正常に行われることを確認する

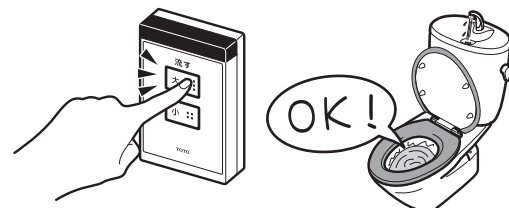
正常に作動しない場合

- ハンドルは正しく取り替えましたか？
- 玉鎖を大小間違えて取り付けいていませんか？
- 玉鎖がたるみすぎ、張りすぎていませんか？



③ リモコンによる便器洗浄を確認する

「大」「小」スイッチを押して便器洗浄を行うことを確認する
※連続して押すと作動しません。10秒以上間隔をとってください。



④ ボールタップの作動確認を行う

作動中にレバーがボールタップの浮玉に当たると、便器洗浄の作動不良やボールタップの止水不良の可能性があります。

浮玉が真下に降りるように正しく取り付けてください。

